

「 高校入試改革 」

柴山義塾 さかべ知能教育

公立高校入試新方式導入

平成29年度入試から、愛知県の公立高等学校(全日制)の入試制度は以下のように新しくなっていますが、2023年度にさらに改革されることが検討されています。

平成29年度からの改正について

<改善に関しての考え方>

- 中学生にとって各高等学校の特色や将来の進路に応じて身近な地域で主体的に選択できること
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた学習活動に資するものとなること
- 中学校3年生の3学期に落ち着いた学習環境を確保するために入試日程を短縮すること

<新方式に関するポイント>

- 推薦選抜と一般選抜が同じ日程(3月上中旬)で実施される。
- 尾張学区は現行のままだが、三河学区は三河第1群・三河第2群が統合される。
- 学力検査の配点が20点から22点に、検査時間が40分から45分に変更される。

入試制度

<日程>

- 推薦入学についてはこれまで別日程で実施してきたが、一般入学の日程の中に取り込み、「推薦枠」の選抜として、全校・全学科で実施する。これにより、入学者選抜全体の日程を現行よりも短縮し、合格者発表を早めることができる制度とする。

<推薦枠>

- 「推薦枠」の選抜を受検することができる者は、第1志望の受検生で高等学校が提示する基準を満たす者のうち、中学校長が推薦する者とする。
「推薦枠」の選抜は、現行の推薦入学の趣旨を受け継ぎ、各高等学校の総募集人員に占める「推薦枠」の割合は、各高等学校が一定の範囲内で決定する。
「推薦枠」の選抜では、調査書等の提出書類、面接（一部の学科は実技検査を実施）により合否を総合的に判断する。「推薦枠」の合格対象外となった者については、一般入学の対象者とする。

<学力検査>

- 学力検査は、現行のとおり5教科とし、中学校学習指導要領の基本的な考え方に基づき、これまで以上に思考力、判断力、表現力等を測る出題となるよう配慮する。
また、「推薦枠」を含め、全日制課程の全ての志願者が学力検査を受検する。
- 出題教科は、国語，社会，数学，理科，外国語（英語）の5教科で、外国語（英語）では、聞き取り検査を行う。
検査時間は、各教科45分だが、外国語（英語）は、聞き取り検査が10分程度，筆記検査が40分とする。
配点は、各教科22点満点とし、5教科の合計得点の最高は110点となる。
- 学力検査と調査書との比率は、現行の方式を基にし、高等学校が特色に応じて学力検査及び調査書における特定教科の比重を高めることができる。

<参考> 公立高校入試問題の傾向と今後の学習課題

社会

語句の暗記だけで解ける暗記科目ではない。複数の資料を見て、選択肢を絞り込む資料分析力が必要。付け焼刃の学習では得点力は身につかない。

問題文を読み解く力、基本的なデータに関する知識、資料を読み取るための着眼点など幅広く問題を分析する力が要求されます。昨年度の入試では、思考力・判断力を問う問題として「複数の資料から得られる情報を整理し、あてはまる組み合わせを選択肢の中から選ぶ問題」が出題されました。（次ページ参照）

<問題例>

A入試 大問4 世界地理

- ①説明文を読んで国名を特定する。
- ②データや略地図から必要な情報を読み解く

【問題例1】A入試 大問4 (1) 2点問題

4 次のⅠ・Ⅱの表、Ⅲの略地図は、生徒がインドネシア、コートジボワール、トルコ、メキシコの4国についてのレポートを作成する際にまとめた資料の一部である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。なお、ⅠおよびⅡの表中のA,B,C,Dには、それぞれ同じ符号には同じ国名があてはまる。また、Ⅱの表中の4か所の(X)と2か所の(Y)には、それぞれ同じ符号には同じ国名があてはまり、Ⅲの略地図中のaからdまでは、4国のいずれかの首都の位置を示している。

- (1) 次の文章は、生徒がⅠの表中のA,Cについて、Ⅱの表とⅢの略地図を用いて発表した際のメモの一部である。文章中の(①)、(②)にあてはまる最も適当な国名を、それぞれカタカナで書きなさい。また、文章中の(③)、(④)にあてはまる符号として最も適当なものを、Ⅲの略地図中のaからdまでの中からそれぞれ選んで書きなさい。

Ⅱの表中のXには(①)が、Yには(②)があてはまる。AからX、CからYにはそれぞれ多くの労働者が移住しており、Ⅱの表からもそれぞれ2国間の経済的な結びつきの強さがうかがえる。Ⅲの略地図ではAの首都は(③)に位置し、Cの首都は(④)に位置している。

Ⅰ 4国の農業や食文化

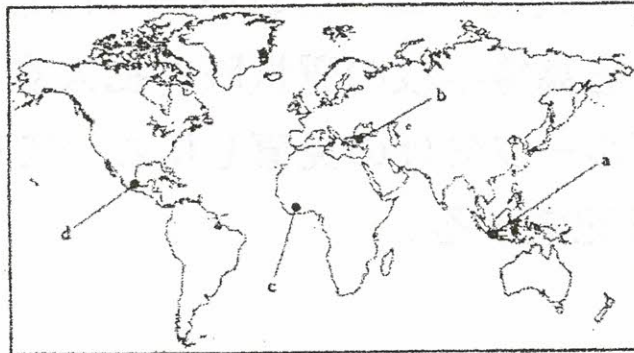
国名	農業や食文化などについての説明
A	トウモロコシの栽培がさかんで、食文化にはスペインの影響がみられる。トウモロコシからつくる生地に肉や野菜などをはさんだ料理が有名である。
B	米の栽培がさかんで、香辛料の産地として有名である。人口の多数を占めるイスラム教の信者は、その教えにより、(X)を食べることを禁じられている。
C	アジアとヨーロッパの陸上交易ルート上に位置し、東西の食文化が融合している。米、羊、ヨーグルトやナッツ類などを食材に用い、黒海沿岸では魚介料理も多い。
D	チョコレートの原料となるカカオの生産・輸出が世界一である。モノカルチャー経済とよばれる(Y)に依存する状況から抜け出すことが課題となっている。

II 4国の相手先別輸出額の上位5か国それぞれが輸出額全体に占める割合(2015年)

A		B		C		D	
国名	(%)	国名	(%)	国名	(%)	国名	(%)
(X)	81.2	日本	12.0	(Y)	9.3	オランダ	12.1
カナダ	2.8	(X)	10.8	イギリス	7.3	(X)	8.1
中国	1.3	中国	10.0	イラク	5.9	ベルギー	6.5
ブラジル	1.0	シンガポール	8.4	イタリア	4.8	フランス	6.4
コロンビア	1.0	インド	7.8	(X)	4.5	(Y)	6.1

(「世界国勢図会 2017/2018年版」などをもとに作成)

III 4国の首都の位置を示した略地図



- 手順① Iの表中のAからDの国名を、説明文を読んで特定する。
 手順② IIのデータからXとYの国を特定する。
 手順③ AとCの首都を、地図中から選ぶ。

<面接>

- 面接は志願者全員に実施するが、面接方法等については、各高等学校が工夫できる。

<学区>

- 「普通科における学区については、現行のとおり尾張、三河の2学区とする。
尾張学区については、現行のとおり二つの群及びそれに属するA、B二つのグループ分けとして、地域における高等学校の選択肢を拡大するように、群及びグループの一部見直しと1・2群共通校の設置を行うこととする。また、三河学区については、尾張1群や尾張2群と学校数を同程度とするため、二つの群を一つにし、A、B二つのグループ分けを前提として、地域における高等学校の選択肢を拡大するように、グループ分けの見直しを行う。なお、群及びグループ分けの見直しにおいては、一部の組み合わせに志願者が集中することのないよう配慮する。

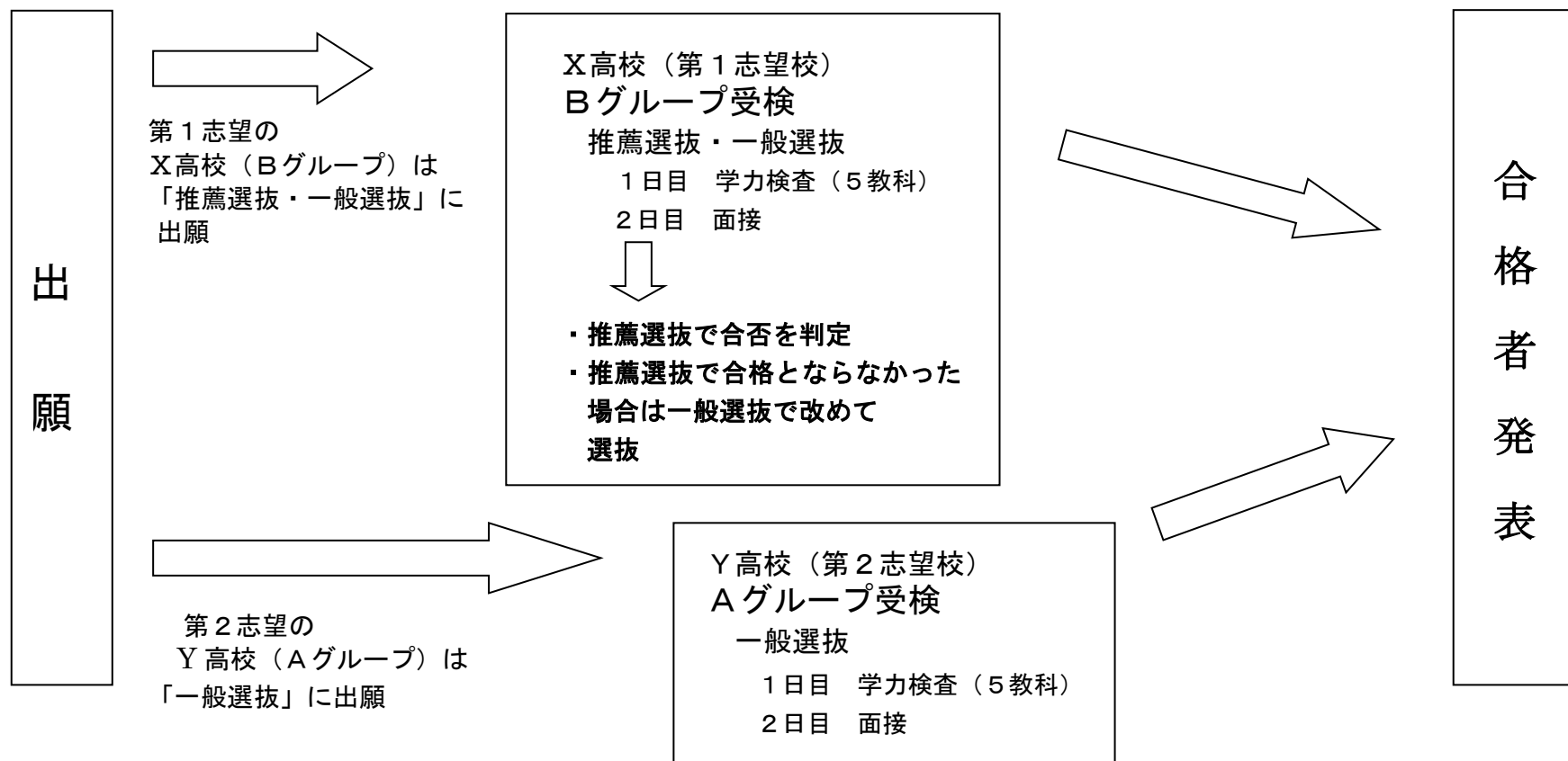
出願から合格者発表までの流れ

(例) 第1志望のX高校 (Bグループ) は「推薦選抜・一般選抜」に出願し, 第2志望のY高校 (Aグループ) は「一般選抜」に出願する場合 (入試実施日の順がBグループ・Aグループの場合)

2月中下旬

3月上旬

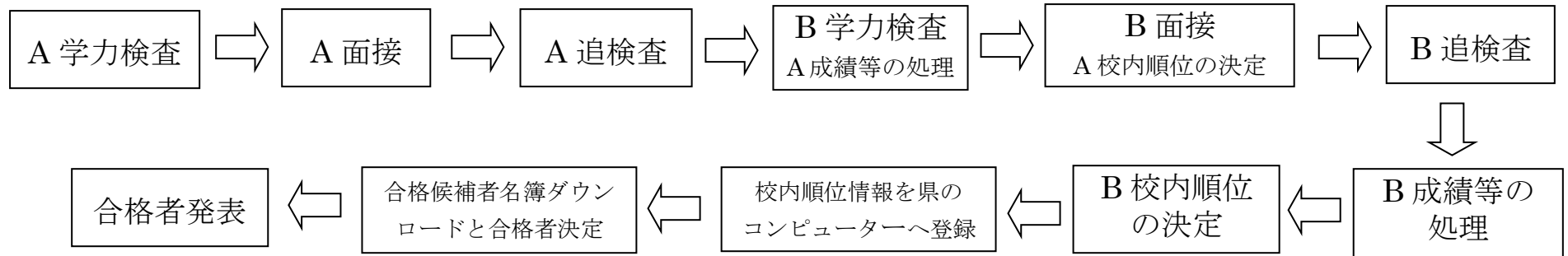
3月中旬



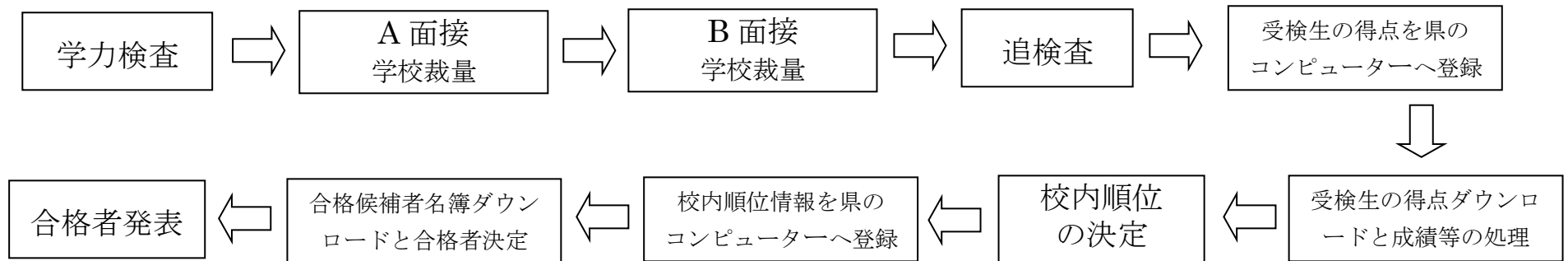
★ 本文については「愛知県のホームページ」の資料を引用しています。

学力検査日以降の流れ（イメージ）

（平成29年度以降制度）



（2023年度新制度）



★ 本図表については「愛知県のホームページ 2020年11月」の資料を引用しています。

2023年度入試制度の改正について

<新方式に関するポイント>

- 一般選抜の学力検査の回数が2回から1回になる。
(2校に出願できることはこれまで通り)
- 推薦選抜はこれまでよりも早い時期に実施する。
(推薦選抜の具体的な実施時期は今後検討して決める。)
- 一般選抜で面接を実施するかどうかは高校ごとに決定する。
(高校ごとの面接の有無は事前に公表する。)

<新しい入試制度の概要>

●推薦選抜

一般選抜より早い時期で実施し、合格者発表は一般選抜の出願時期よりも前となる。なお、推薦選抜では学力検査を行わない。

●学力検査

これまでA、B二つのグループの高校それぞれで実施していた学力検査が、1回になる。2校に出願した場合は、1回の学力検査の結果を、第一志望校と第二志望校の両方で用いて合否判定を行う。

●特殊選抜

高校や学科の特色を生かした新しい選抜である「特別選抜」を実施する。

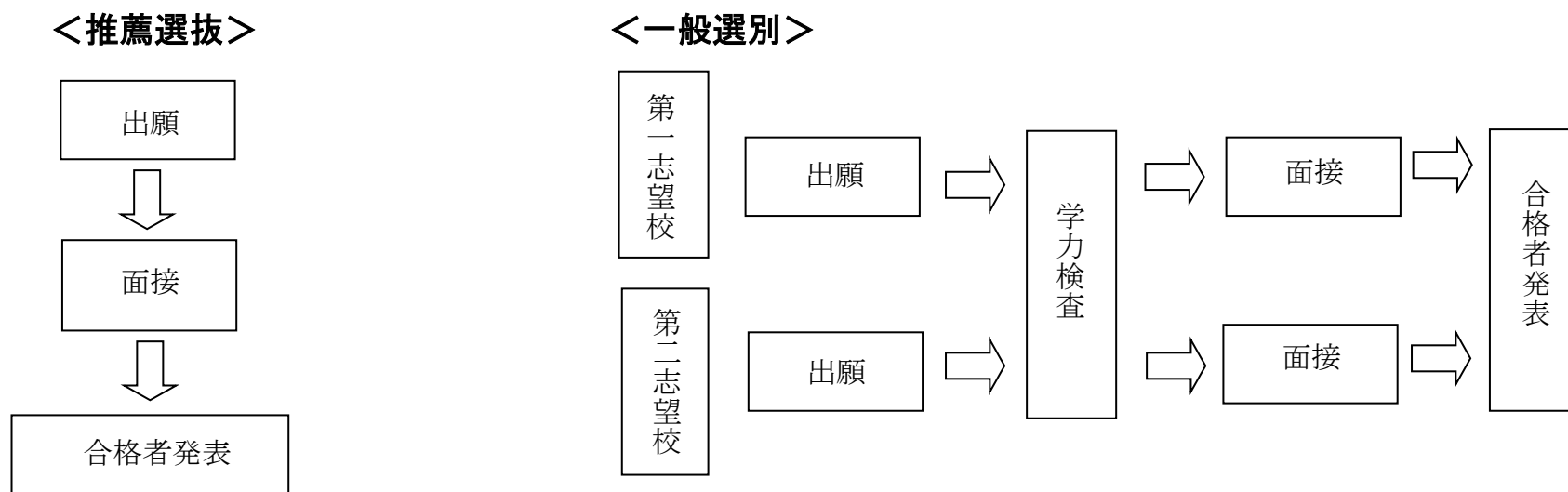
推薦選抜とは異なり、中学校の推薦書は必要ない。具体的な実施校・学科や実施時期などは今後検討して決定する。

●外国人生徒等選抜

これまで一般選抜と同じ日に実施していた外国人生徒等選抜は、一般選抜より早い時期に実施する。合格者発表は一般選抜の出願時期よりも前となる。

●面接

一般選抜で面接を実施するかどうかは、高校ごとに決定する。したがって、高校によっては一般選抜の面接を行わないことがある。なお、面接の結果を他の高校の合否判定で用いることはない。



私立高校入試新方式導入

2022年度入試から、愛知県の私立高等学校の推薦入試で「特色入試」を導入すると発表した。

<新しい入試制度の概要>

●中学校の推薦書は必要ない。

各校が「求める生徒像」を示し、スポーツや芸術など様々な分野で活躍する生徒が自己推薦の形で受験する。

●入試内容

入試内容は学校ごとに異なり、自己推薦書や個別面接、学力試験などを課し「自己アピール」として、プレゼンテーションや実技の時間を設ける学校もある。

●実施校

名古屋地区11校、尾張地区8校、三河地区2校で実施。実施校は未発表。一般試験と推薦試験を合わせた募集数全体の1割を上限とする。

●入試日程

試験日は推薦入試と同じ日で、合格発表も同じ。「専願」扱いで入学手続きは一般入試前に締め切る。不合格の場合でも一般入試は受験できる。

<参考資料>

令和4年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施日程

昨年度からの変更点

全日制単位制高等学校に改編する愛知県立守山高等学校及び愛知県立幸田高等学校において、中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方の学年における欠席日数が年間30日程度以上の者を対象とする「特別選抜」を実施する。

全日制課程

(1) 一般選抜

入学願書提出期日	令和4年2月18日(金)及び同年2月21日(月)
志願変更期日	令和4年2月22日(火)及び同年2月24日(木)
学力検査実施期日	Aグループ 令和4年3月7日(月) Bグループ 令和4年3月10日(木)
面接実施期日	Aグループ 令和4年3月8日(火) Bグループ 令和4年3月11日(金)
特別検査	Aグループ 令和4年3月8日(火) Bグループ 令和4年3月11日(金)

※音楽科については令和4年2月27日(日)及び同年2月28日(月)にも一部の特別検査を行う。

合格者発表期日 令和4年3月18日(金)

(2) 推薦選抜

入学願書提出期日 令和4年2月17日(木)及び同年2月21日(月)

面接実施期日 Aグループ 令和4年3月8日(火)

Bグループ 令和4年3月11日(金)

特別検査 Aグループ 令和4年3月8日(火)

Bグループ 令和4年3月11日(金)

※音楽科については令和4年2月27日(日)及び同年2月28日(月)
にも一部の特別検査を行う。

合格者発表期日 令和4年3月18日(金)

(3) 特別選抜

海外帰国生徒にかかる入学者選抜

入学願書提出期日 令和4年2月17日(木)及び同年2月21日(月)

学力検査実施期日 Aグループ 令和4年3月7日(月)

Bグループ 令和4年3月10日(木)

面接実施期日 Aグループ 令和4年3月8日(火)

Bグループ 令和4年3月11日(金)

合格者発表期日 令和4年3月18日(金)

外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜

入学願書提出期日 令和4年2月17日（木）及び同年2月21日（月）

学力検査及び面接実施期日

Aグループ 令和4年3月 8日（火）

Bグループ 令和4年3月11日（金）

合格者発表期日 令和4年3月18日（金）

全日制単位制高等学校にかかる入学者選抜

入学願書提出期日 令和4年2月17日（木）及び同年2月21日（月）

学力検査実施期日 Bグループ 令和4年3月10日（木）

面接実施期日 Bグループ 令和4年3月11日（金）

合格者発表期日 令和4年3月18日（金）

※募集人員の5%程度までを定員とし、面接は個人面接、学力検査の出題教科、問題は一般選抜と同じ

連携型中高一貫教育校にかかる入学者選抜

入学願書提出期日 令和4年2月10日（木）及び同年2月14日（月）

面接実施期日 令和4年2月15日（火）

合格者発表期日 令和4年2月16日（水）